

のんびりした田園風景のアップダウンを楽しむ



綾川町観光協会

〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町滝宮299番地
TEL: 087-876-5282 FAX: 087-876-1948
ホームページ: <https://ayagawa.jp>



癒される景色とおいしさあふれる「綾川サイクリングマップ」



Ayagawa Cycling Map



綾川町を楽しもう!



綾川町は、さぬきうどん発祥の地



「個人的なお店がいっぱい! 複数たのしみなら「A」がオススメ!

綾川町は、さぬきうどん発祥の地といわれています。滝宮出身で空海の甥にあたる「智泉大徳(ちせんだいとく)」は、唐から帰国した空海に、唐に伝わる麺の打ち方を伝授されたそうです。麺作りの技術を習得した智泉は、故郷の両親をこの麺でもてなしたといわれており、これがさぬきうどんのルーツといわれています。またサイクリングロードの国道377号線沿いは個人的なうどん屋さんが点在しています。



「見事なしだれ桜を田園風景で楽しむ」

3月下旬
4月頭



堀池のしだれ桜

1975年(昭和50年)に、堀池(ほりけ)という地に植えられた、しだれ桜。ソメイヨシノよりも開花時期が一週間ほど早く、三月下旬から四月の一週目あたりが見ごろ。毎年多くの方が訪れます。見頃の時期に華の郷まつりが行なわれ、地元団体の方々がヨモギ餅や、イノシシ汁を販売しています。「水仙ロード」と呼ばれる道沿いに咲く水仙が、しだれ桜まで案内してくれます。桜の種類は江戸彼岸桜です。

●標高(約149m) ●ROAD C-Dの出发・到着地点との高低差(約62m)



動く電車の博物館に癒される

ことでん

(高松琴平電気鉄道 琴平線)

「レトロな電車が走るノスタルジックな風景」



日本各地の旧型車両が走る「動く博物館」ことでん。2022年11月に開業111周年を迎えました。綾川町内を走るのは、高松琴平線から琴電琴平駅までの琴平線。2023年1月現在、営業用車両を80両保有。これは地方都市の民営鉄道としては最も多い車両数です。田園の中を各駅停車の電車が、のんびり走る景色は見るだけで癒されます。



「かわいいおむすび山ほのぼのして癒されます」

堤山(つつまやま)

堤山(つつまやま)は、富士山に形が似ている讃岐七富士の一つで羽床(はゆか)富士と呼ばれています。ことでん羽床駅から近い国道32号線沿いに独立峰として存在感を示し、どの方向からも秀麗な山容が見られる数少ない山です。山頂には堤山三社の天神神社・剣神社・石鎚神社が祭られています。登山道はよく整備され、危険箇所は皆無。ファミリー登山が楽しめます。

●標高(約201m) ●ROAD C-Dの出发・到着地点との高低差(約114m)



うどんといちごの郷

道の駅 滝宮・綾川町うどん会館

●標高(約43m) ROUTE A 出発・到着点

滝宮天満宮の西側にある道の駅。新鮮な野菜や果物、綾川町や香川県のおいしい特産品やお土産、うどんや国産うなぎ、いちごスイーツなどを楽しんでいただける、魅力いっぱいの道の駅です。サイクリング中の休憩や、食事、待ち合わせ場所にも最適です。



さぬきひめ(いちご)

綾川町では、香川県を代表するいちごの品種「さぬきひめ」の栽培が盛んです。道の駅滝宮にある、専門スイーツショップ「うふ、いちご。」で、果汁が多く爽やかで上品な味わいの「さぬきひめ」を使ったいちごスイーツをお楽しみください。



「綾川のスイーツを楽しもう! ここに来れば、おいしいものがいっぱい!」



12月5日



主基斎田 お田植まつり

6月

主基斎田(すきさいでん)とは、新しい天皇が即位後に行う大嘗祭(だいじょうさい)に奉納する、新米を栽培する御田のこと。綾川町は、大正天皇が即位する際に主基斎田に選ばれました。それを記念して主基斎田保存会が発足し、毎年6月に主基斎田お田植まつりが開催されるようになりました。

●標高(約72m) ●ROAD Bの出发・到着地点との高低差(約18m) ●ROAD C-Dの出发・到着地点との高低差(約15m)



山間の柏原溪谷で自然を感じる



TaTuTaの森

TaTuTa(タツタ)とは竜田山の女神、竜田姫のことを指しています。竜田姫は古くは古今和歌集にも登場する秋の神様であり、また日蓮上町の町木である紅葉の神様です。その竜田姫の名前をとり「TaTuTaの神様が住む柏原の森」というイメージをいただき命名しました。キャンプ場はTaTuTaの神に見守られながら多くの思い出をくれる人々に与えてくれることでしょう。



高山航空公園

「上空を飛ぶ飛行機と展示されたレトロな飛行機が絵になる」

パノラマ展望台からは讃岐平野、丸亀港、遠くは志度湾を望み、さらに眼下には一直線に伸びた高松空港の滑走路が一望できます。時折、離陸直後の飛行機が頭の真上を通過するなど、実に爽快な気分が味わえます。園内にはジェット機やヘリコプターが展示され、公園の奥には航空神社が鎮座しています。また、遊具施設も整備され、お子様連れの方も楽しんでいただけます。日曜日には、高山パークセンターにて軽食喫茶や地元物産品の販売がおこなわれています。特に食物繊維豊富な「もち麦うどん」が、好評です。

●標高(約270m) ●ROAD C-Dの出发・到着地点との高低差(約183m)



8月 ユネスコが認めた歴史あるお祭り

滝宮の念仏踊(たきのみやのねんぶつおどり)

●標高(43m) ●ROAD Aの出发・到着地点との高低差(約0m)



菅原道真公が讃岐の国司であった仁和4年、雨が全く降らず大飢饉に。菅公は、自ら城山に登り群集七日七夜、祈雨の願文を奏して祈り続けると、待望の雨が三日三晩降り続きました。喜ぶ人々は、国司の邸に群集し歓喜のあまり舞い踊りました。これが滝宮の念仏踊の起源とされています。その後、法上人が振付をして現在の形となりました。

